

外部評価委員の意見

1 学校教育の充実

(1) 管理課所管

ア 各事業における会計年度任用職員等の人員の配置について、他市町と比較しても手厚い対応である。特に、別室少人数指導員や教育支援センター支援員、スクールアシスタントについては、不登校や特別支援教育に関する児童生徒理解の一助になっている。人件費の負担は大きい、町には本方針の継続を求めるとともに、現場の先生方には、現状が当たり前ではないことを認識していただきたい。

イ 教育の情報化に関して、急速に進化するデジタル社会に対応できる人材の育成をめざし、ICTの活用が様々な学習活動において、児童生徒の「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実や、情報活用能力の育成、教職員の業務の効率化に繋がっていることは理解できる。ただし、鉛筆で字を書くことは思考を整理し、表現する上で重要であることから、子どもたちの「書く力」が低下することのないよう指導をお願いしたい。

ウ 学校図書館に関して、活字を読むことにより、自ら学び考える力を育成するため、読書活動の推進や探究的な学習活動を支える学校図書館の図書の実質をお願ひする。

また、本との出会いは、様々な知識を習得し、豊かな心や想像力を育む貴重な機会となることから、本に直接触れ、紙のページをめくる感触を味わいながら本を読むことの大切さを感じてもらうため、今後学校の教育活動として、読書タイムなどの読書の時間を確保・拡充することを検討してもらいたい。

エ 部活動地域移行（展開）について、今後入学する生徒やその保護者が、取り組みたい部活動が無くなることに一定の不安を抱いている。受け入れ団体や指導者、活動場所などの確保が難しいことから、難航していることは理解するが、子どもたちの体力やコミュニケーション能力の向上、人間関係の構築、ストレス解消、スポーツや文化活動による協調性や責任感の育成のためにも、円滑に地域連携（展開）を進めてもらいたい。

オ 学校給食について、現下の物価高騰のなかで、給食費の値上げ分を町が公費負担することで、保護者の負担も従前と変わらぬまま、同様の栄養価の高いおいしい給食が提供されていることは、並々ならぬ関係者の尽力によるものと推察する。

また、異物混入や食中毒などの発生や、アレルギー対応食の誤提供が無いよう、食材の仕入れから調理、提供までの各工程で適切な衛生管理を行い、「安全・安心」な給食の提供の徹底をお願いする。

2 児童福祉・幼児教育の充実

(1) こどもえがお課所管

ア 子育て短期支援事業は、一時的な養育困難家庭における子どもの居場所の確保につながっている。しかしながら、施設側の受入れ態勢が整わないことで断られる事案も発生している。町としての責任や子どもの安全を考え、引き続き施設への根気強い受入れ交渉や丁寧な対応、的確な調整に努めていただきたい。また、子育て世帯訪問支援事業は、家庭訪問支援員の訪問を拒否したり、反対に依存したりするなど関わり方が難しい場合もあるが、保護者等の家事・子育ての負担軽減、虐待の早期発見や未然防止の面で大きな役割を果たしている。今後も保護者への丁寧な趣旨説明を行うとともに家庭訪問支援員の確保・質の向上に努め、適切なサービスの提供を継続してほしい。

イ 保育士等にとって研修は重要であり、知識や意識の向上につながる。特に虐待防止、アレルギー・感染症対応、特別支援など命に関わる内容は、全職員が計画的に受けるべきである。慢性的な職員不足ではあるが、園所として必要な内容は必ず受講できる体制づくりが必要である。一度に全員が受けるのではなく、交代制、時間調整やICTの活用により、園所内で無理なく実施する工夫も有効である。出張型と園所内型の両方を活用し、職員の学びの確保に努めてほしい。

ウ 巡回支援事業では、心理士や療法士等の専門職から具体的な助言等を受け、職員や保護者が適切な支援をすることで、家庭・学校園所等・療育が一体となった支援につながり、子どもが安心して過ごせる環境づくりに貢献している。事業の丁寧な周知活動により、保護者の理解と協力を得やすい体制が整っている。今後も本事業の継続と対象児へのきめ細かな支援に期待したい。

エ 園舎の老朽化により、安全面での不安が生じる場面がある。危険が想定される箇所の修繕等については、早急に対応するよう今後も配慮をお願いしたい。現場からの点検・報告に対して、所管課が「一緒に見て考える」という姿勢が現場に安心感を与える。子どもたちの安全確保のため、引き続き連携して対応していただきたい。

3 社会教育の充実

(1) 社会教育課所管

- ア 夏季休業中の夜間巡回補導については、祭りの開催時等の子どもが出歩き問題事案が誘発されやすい日や、声かけ事案等が発生しがちな時間帯に行う等、実施方法の再考を検討されたい。
- イ 昨今、子どもを取り巻く犯罪被害の報道が取りざたされる中、子どもをイベントに参加させることに不安を覚える保護者も少なくない。子どもたちが安心して参加できるよう、指導者やボランティア等への注意喚起、情報共有を確実に行い、モラルの熟成を図ることで、安全で安心できる事業の実施につなげていただきたい。
- ウ 学校部活動の地域移行に向けて、地域クラブとしてどのような活動が今後展開できるのか、本町のスポーツ少年団との関係を踏まえ検討されたい。

(2) 文化推進課所管

- ア 文化会館自主事業については住民参加型の事業を中心に行われ、住民が身近に文化・芸術に触れる機会が増えたことは評価できる。大規模改修によって2年間休館となるが、文化団体等との関係を保ちつつ、リニューアル後も魅力的な事業を展開されたい。
- イ 文化会館及び歴史資料館の大規模改修については、利用者の利便性が向上することを期待する。また、有事の際は避難所にもなる施設なので、工事を着実に進められたい。
- ウ 中高生の図書館離れが言われる中、学校帰りに寄ってみようと思えるような新たな取り組みが必要と思われる。図書館が子どもたちの居場所の一つとなり、図書館の利用促進・貸出数増につながることを期待する。
- エ 埋蔵文化財調査は、夏の暑さをはじめ過酷な環境下で、増大する調査に取り組まれていることと認識している。町事業に関係する大規模な調査もあり、体制の充実やデジタル化の推進による効率化を期待したい。また、ぼうじいの活用について、地域を巻き込んだ取り組み等も検討されたい。